

志木市指定文化財の指定について

志木市教育委員会は、文化財保護法及び志木市文化財保護条例に基づき、新たに「中宗岡の御嶽塚」を志木市指定文化財に指定しました。今回の指定により、市内の指定等文化財は、国指定1件、国登録7件、市指定36件の計44件となります。

1 指定年月日 令和5年10月23日（月）

2 名称・種類

名称：中宗岡の御嶽塚（なかむねおかのおんたけづか）

種類：有形文化財 有形民俗文化財

3 文化財の概要・特徴

指定対象の「中宗岡の御嶽塚」は、庶民の信仰である木曾御嶽山信仰に基づき、明治25年頃に宗岡一山講によって築造された高さ約5.4mの擬岳です。

塚には、頂上の「御嶽山大神・八海山大神・三笠山大神碑」をはじめ、御嶽信仰に特徴的な霊神碑、木曾御嶽山の各霊場を模したと思われる「清瀧不動明王立像」や諸神碑などの石造物、合目石を伴うつづら折りの登山道が設けられるほか、随所に黒ボク石が配されています。

4 指定理由

「中宗岡の御嶽塚」は、周辺地域に所在する御嶽塚と比較して大型であることに加えて、形態も優美であり、木曾御嶽山の霊場などを忠実に模したと思われる石造物や、合目石を伴うつづら折りの登山道が設けられています。さらに、築造された明治中期以降、大正、昭和に至るまで、長期間に渡り造立された66点もの豊富な石造物は、地域における信仰のあつさを示しています。

また、寄附連名碑や霊神碑などに記された碑文や人名からは、宗岡一山講の活動状況や、木曾御嶽信仰を中心とした周辺地域との関係、さらには志木市域に特徴的な富士山信仰との関連もうかがい知ることができ、近代の志木市域及び周辺地域における民間山岳信仰のあり方を知るうえで大変貴重な文化財です。



▲中宗岡の御嶽塚（中宗岡2-29）

記者発表資料

令和5年10月23日

教育政策部生涯学習課

生涯学習・文化財グループ

担当者／主査 徳留 彰紀

電話番号／048-473-1134

志 木 市